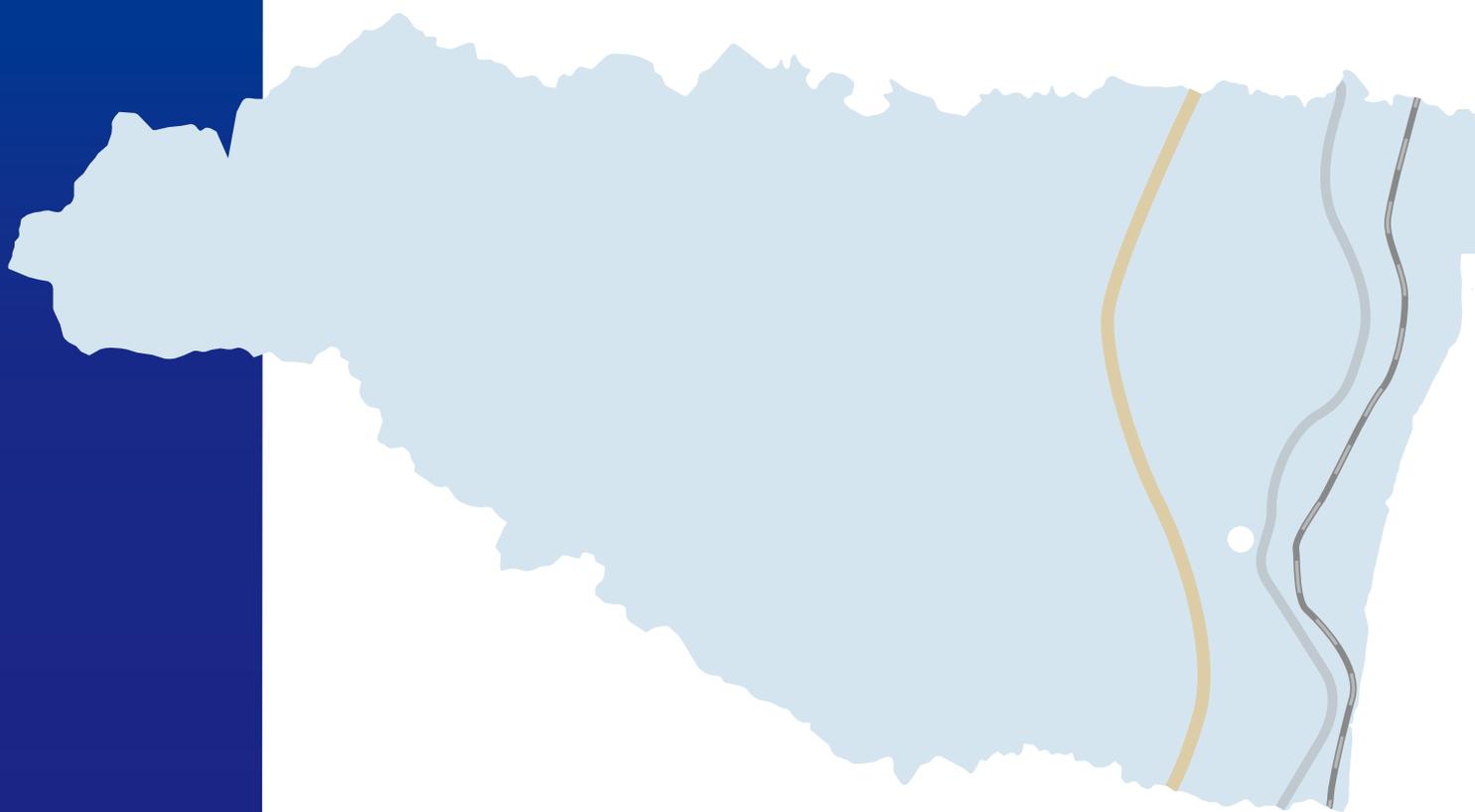


I 広野町の状況

- 1 広野町の概要
- 2 地震・津波による被害状況
- 3 避難所の概要



1 広野町の概要

(1) 面積・人口

■面積：58.69km²

■人口：5490人

■世帯数：1989世帯

(※平成23年3月11日時点)

(2) 町の位置・地勢

町は福島県浜通り地方の中部、双葉郡の最も南に位置し、東は太平洋、西には阿武隈山脈が連なり、東西13km、南北7kmの広さである。

西端は、東経140度52分10秒でいわき市に接し、東端は141度01分50秒で広野火力発電所の突端になる。

太陽の南中高度は夏至のとき約76度、冬至には最低約30度となり、この範囲内で季節により少しずつ移動する。

山は五社山、北迫川・浅見川・折木川の3つの川と、二ツ沼・西の沢池の沼地などがあり、温暖で寒暖の差が少ない気候である。



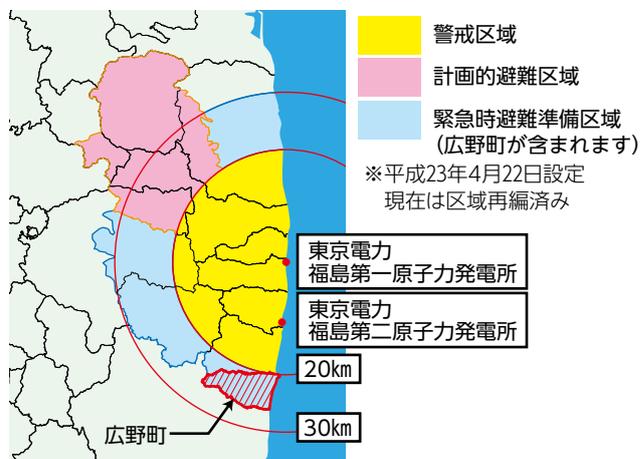
(3) 原子力発電所からの距離

①福島第一原子力発電所

町は、福島第一原子力発電所からおおむね20~30km圏内に位置している。

②福島第二原子力発電所

町は、福島第二原子力発電所から町の一部が10km圏内に位置している。



2 地震・津波による被害状況

平成 23 年 3 月 11 日（金）14 時 46 分、三陸沖を震源とする国内観測史上最大規模の大地震（マグニチュード 9.0）が発生。

この地震で、広野町は、2 分程度の激しい横揺れに襲われ、震度 6 弱を観測した。

地震発生からおよそ 45 分後に推定 9 m の津波が押し寄せ、久保・本町地区をはじめとする沿岸部において甚大な被害をもたらした。

これら一連の地震と津波により、電気や上下水道などのライフラインが壊滅状態に陥った。



広野駅の線路を境に東側は津波により浸水（3月11日）



津波により浸水した久保地区（3月11日）

●東日本大震災による被害状況

（平成26年3月31日時点）

区 分		被 害 数	備 考
人 的 被 害	死者	2人	震災関連死 38人
	行方不明者	1人	
住 家 被 害	全壊	113世帯	
	大規模半壊	35世帯	
	半壊	181世帯	
その他の被害	道路	町道15か所	被害額 1億2800万円
	下水道	下水処理場 1 棟全壊、町内管路損傷	被害額 8億8900万円
	町営住宅	浜田住宅全壊、大平住宅・虻木住宅・桜田住宅損傷	被害額 3億 430万円
	教育施設	3 棟ほか	被害額 1億3200万円
	農地	44ヘクタール	被害額 8億3800万円



二ツ沼総合公園付近の国道 6 号線が崩落（3月11日）

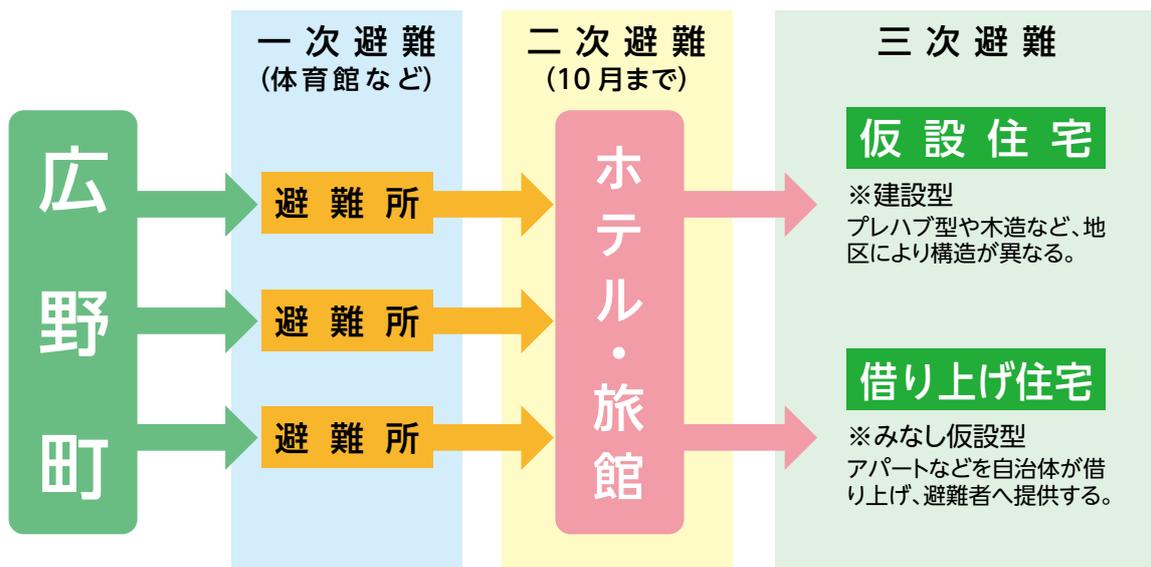


地震により書類が散乱した役場庁舎（3月11日）



津波の被害を受けた下水処理場（3月13日）

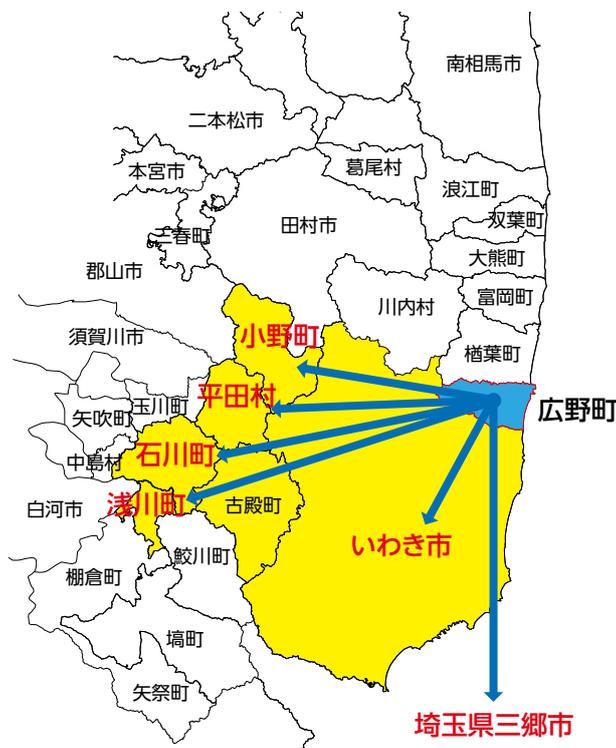
3 避難所の概要



広野町における避難フロー図

(1) 一次避難

避難指示発令後、役場機能を田村郡小野町（広野町から西へ50kmの町）に移転。田村郡小野町、石川郡平田村、石川町、浅川町、いわき市、埼玉県三郷市に一次避難所を設置。



一次避難所への主な流れ

(2) 二次避難

平成23年4月9日から、田村郡小野町、石川郡平田村、石川町、浅川町、いわき市、埼玉県三郷市の各避難所からホテル、旅館への二次避難を開始。

●地域別避難者数（平成23年6月13日時点）		
いわき地区（いわき市）	11か所	516人
石川地区（石川郡石川町）	8か所	397人
東白河地区（東白川郡棚倉町、埴町）	7カ所	94人

(3) 三次避難

二次避難よりも自立度が高まる避難者支援として、応急仮設住宅においては、平成23年6月30日にいわき市中央台高久地区の応急仮設住宅への入居を皮切りに、三次避難を開始。

平成26年3月31日時点		
区 分	戸 数	人 数
応急仮設住宅	639戸	1470人
借り上げ住宅	641戸	1682人

